

平成27年度  
「いのちの授業」報告書



平成28年4月  
NPO 法人がんサポートかごしま

平成27年度「いのちの授業」実施校一覧 ※以下「クラス数」すべてにおいて実施

NO	学校名	実施学年	クラス数	人数	地域	電話番号	授業
1	南小学校	6年	2	84	鹿児島	099-253-5304	2015/7/15(水)
2	吉野東小学校	6年	4	158	鹿児島	099-244-3881	2015/11/2(月)
3	羽月小学校	6年	1	21	伊佐	0995-22-0271	2015/11/4(水)
4	桜山小学校	6年	1	36	枕崎	0993-72-9883	2015/11/6(金)
5	田中小学校	5年	1	22	伊佐	0995-26-0029	2015/11/11(水)
6	武小学校	6年	3	94	鹿児島	099-255-6136	2015/11/13(金)
7	東出水小学校	6年	1	41	出水	0996-63-2160	2015/11/16(月)
8	東谷山中学校	中3	7	277	鹿児島	099-268-1271	2015/11/18(水)
9	伊敷中学校	中2	6	239	鹿児島	099-226-0522	2015/11/19(木)
10	伊敷台小学校	6年	3	114	鹿児島	099-229-0181	2015/11/20(金)
11	犬迫小学校	6年・5年	2	29	鹿児島	099-238-0550	2015/11/25(水)
12	石谷小学校	6年	2	52	鹿児島	099-278-1008	2015/12/1(火)
13	本城小学校	6年	1	17	伊佐	0995-26-0054	2015/12/2(水)
14	山野小学校	6年	1	13	伊佐	0995-22-0420	2015/12/4(金)
15	明光学園	中2・中3	2	32	伊佐	0995-22-0609	2015/12/4(金)
16	西伊敷小学校	6年	2	59	鹿児島	099-220-8057	2015/12/7(月)
17	小山田小学校	6年	1	19	鹿児島	099-238-2558	2015/12/11(金)
18	川内南中学校	中3	5	174	薩摩川内	0996-23-4602	2015/12/12(土)
19	大裏小学校	6年・5年	1	24	薩摩川内	0996-55-0009	2015/12/14(月)
20	要小学校	6年	1	38	東京	0995-22-0263	2015/12/18(金)
21	大口東小学校	6年	1	14	伊佐	0995-22-0263	2016/1/13(水)
22	平出水小学校	6年	2	7	伊佐	0995-22-1045	2016/1/21(木)
23	針持小学校	6年・5年	1	8	伊佐	0995-25-1140	2016/1/22(金)
24	川上小学校	6年	3	96	鹿児島	099-243-0576	2016/1/27(水)
25	隈之城小学校	6年	3	116	薩摩川内	0996-23-2604	2016/2/3(水)
26	福平小学校	6年	4	138	鹿児島	099-261-6624	2016/2/10(水)
27	瀬々串小学校	6年	2	29	鹿児島	099-347-0009	2016/2/12(金)
28	草牟田小学校	6年	2	76	鹿児島	099-225-3625	2016/2/13(土)
29	中洲小学校	6年	2	79	鹿児島	099-253-9181	2016/2/19(金)
30	向陽小学校	6年	2	74	鹿児島	099-265-3223	2016/2/26(金)
31	明光学園(高校)	高3	1	40	伊佐	0995-22-0609	2016/2/29(月)
32	伊敷台中学校	中2	6	219	鹿児島	099-228-8114	2016/3/4(金)

- 実施校数 32校 (小学校:26校、中学校:5校、高校:1校)
- 実施学級数 76クラス (小学校:49クラス、中学校26クラス、高校1クラス)
- 実施人数 2,439名 (小学校:1,458名、中学校:941名、高校:40名)
- 実施地域 鹿児島市:17校、薩摩川内市:3校、伊佐市:9校、出水市:1校、枕崎市:1校、東京:1校
- 実施シェア率 鹿児島市:22%(17/78校)、薩摩川内市:0.9%(3/34校)、伊佐市:64%(9/14校)  
出水市:0.7%(1/14校)、枕崎市:25%(1/4校)

# 患者が伝える 「いのちの授業」とは

---



NPO法人がんサポートかごしま  
理事長 三好綾

## いのちの授業を始めたきっかけ

---



『生きるということは、  
人のために生きること、以上』

山田泉さん公式ブログより



# いのちの授業スタート！

2010.11.1  
西陵小学校（鹿児島市）



2010.11.5  
寿小学校（鹿屋市）



初心  
「子どもの前に  
立つのがこわい」  
を忘れてはいけない

## 「いのちの授業」実績



小学校高学年～高校生まで  
（保護者・職員研修もある）

2010年～2016年2月  
約5700名に授業を実施



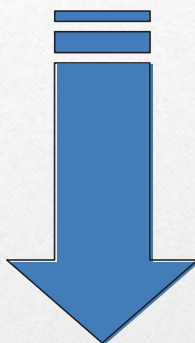


# 「いのちの授業」 について

平成18年6月 がん対策基本法

平成19年6月 国のがん対策推進計画

平成20年3月 鹿児島県がん対策推進計画



平成22年度から「いのちの授業」を  
実施してきた

がん教育の  
文言が入る

平成24年6月 国のがん対策推進計画

平成25年3月 鹿児島県がん対策推進計画

## 平成26年度モデル事業【鹿児島県】

- 鹿児島県教育委員会
  - ・がん教育検討委員会設置
  - ・2市の取りまとめ

保護者にも  
がん教育

- 鹿児島市
  - ・がん教育検討委員会設置
  - ・南小学校
  - ・伊敷中学校授業

小中学校  
一貫教育

- 薩摩川内市
  - ・がん教育検討委員会設置
  - ・隈之城小学校
  - ・川内南中学校授業



学校の先生と、  
外部講師の共働での授業

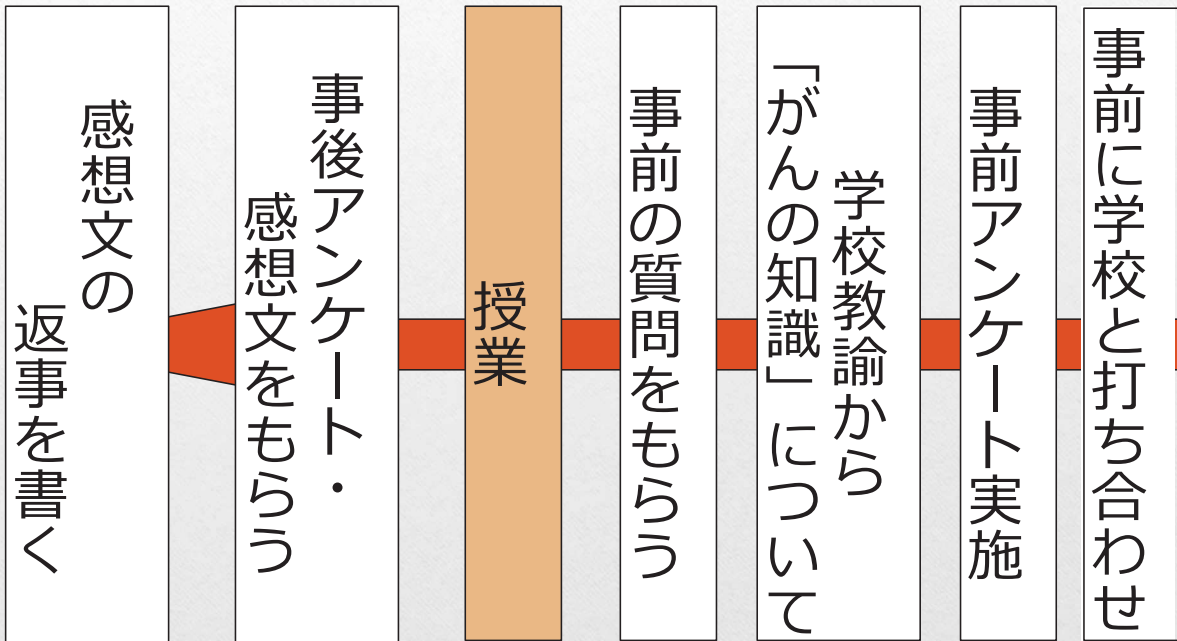
## いのちの授業で伝えたいこと

- ①子どもたちにこれからも  
自分らしく生きていてほしい
- ②がんのことを正しく知ってほしい
- ③がん患者の生き方を知ってほしい

- ①がんの知識の向上
- ②がん患者への理解を促進すること
- ③身内を亡くしている子どもたちへのケア
- ④命の大切さ、周りへの感謝を伝えること
- ⑤保護者や学校の先生への啓発



# いのちの授業の流れ



## 事前の授業について

養護の先生・担任が担当

生活習慣病のひとつ

**がん**のことを  
もっと知ろう

中学校3年生(予防編)

無断複製・転載を禁じます。

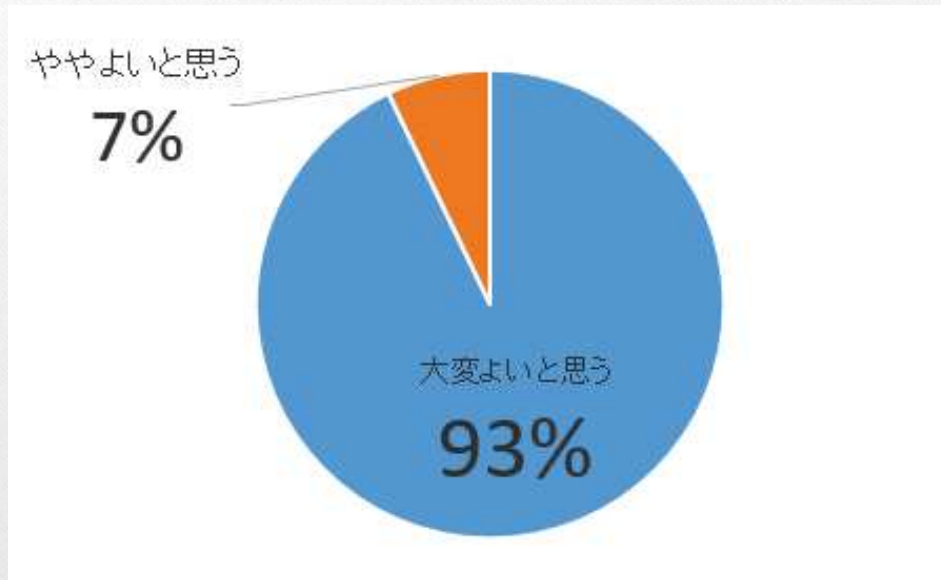
豊島区教育委員会



スライド  
または  
冊子を使用



## 冊子を担任の先生から 教えることができた時間



## 45分の授業内容

休み時間  
ポイント

時間	(分)	学習活動	主な活動内容と教師の支援	材料
:	5	1 担任から紹介	○簡単に名前だけ紹介してもらう	
:	5	2 自己紹介	○名前、今日話すこと	板書
		3 質問	○「今までに死んでしまいたいと思ったことがありますか？」	必ず自分以外は伏せてもらう
		4 がんのイメージ	○がん患者さんのイメージを聞く ・たばこを吸う ・お酒を飲む ・髪の毛がない ・いつも吐いている ・お年寄り 「三好さんのイメージとどうですか？」	前回のアンケート パネル(イメージ)
:	15	5 がんの種類	○がんの種類を聞く 「〇〇さんは何のがんでしょうか？」	板書
		6 がん患者さんの体験を聞く	○質問に答えて体験を話す ・治療のこと 「こんな治療をしました」 ・がんの告知を受けたときの気持ち 「悲しかった、怖かった」 ・支えてくれたこと 「家族、友達、患者会の仲間」	

がんの知識  
がん患者のこと



# 45分の授業内容

10	7 旅立った患者さん についてのお話を聞こう	○「かみづるさんのいのちの授業」 スライドを見てもらう	PPT映す
	8 これからのこと	○2つのお約束 ・今日聞いたお話を誰かに伝えましょう ・「死ね」という言葉を使わない	
2	9 振り返り	○感想を言ってもらおう	
5	10 担任から	○先生から一言	
		終わり	

いのちの  
大切さ



## 子どもたちからの感想をもらおう→返事



限りある命を自分らしく  
心おきなく生きていってください



NPO法人がんサポートかごしま  
鹿児島市下伊敷3-1-7  
099-220-1888



# 子どもたちへの 配慮

## 事前打ち合わせ内容

### 同席するメンバー

- ・ 学校教諭（担任全員・養護教員）
- ・ 授業担当者（メイン・サブ）

### 打ち合わせをする内容

- ・ 授業日程確認
- ・ 担当者確認
- ・ **配慮する生徒の把握**
- ・ お願いすること
  - ・ テキスト印刷
  - ・ アンケートのお願い
  - ・ 質問票のお願い
  - ・ 名簿、座席表のお願い

※ご家族についての情報は担任も把握していないことが多い

※担任の先生の雰囲気も事前に知っておく



## 子どもたちへの配慮

### ■ 「がん」というキーワード

- ・ 身近な人にがんで闘病中の方がいる
- ・ 身近な人を亡くしている
- ・ 自身が小児がんに罹患したことがある

### ■ 「病」というキーワード

- ・ 上記の「がん」以外の病も同様

### ■ 「別れ」というキーワード

- ・ 自死や事故等で身近な人と死別している

## 子どもたちへの配慮

### ■ 「環境」というキーワード

- ・ 児童養護施設に入所している子どもたち
- ・ 不登校・保健室登校の子どもたち
- ・ いじめられている子どもたち

児童養護施設の在所児童数

年齢	計	年齢	計
0歳	2(0.0%)	10歳	2,022(6.7%)
1歳	30(0.1%)	11歳	2,101(7.0%)
2歳	366(1.2%)	12歳	2,283(7.6%)
3歳	933(3.1%)	13歳	2,242(7.5%)
4歳	1,299(4.3%)	14歳	2,414(8.1%)
5歳	1,417(4.7%)	15歳	2,471(8.2%)
6歳	1,598(5.3%)	16歳	2,130(7.1%)
7歳	1,556(5.2%)	17歳	1,861(6.2%)
8歳	1,712(5.7%)	18歳以上	1,607(5.4%)
9歳	1,910(6.4%)	合計	29,979

■厚生労働省「児童養護施設入所児童等調査結果」(平成25年2月1日現在)をもとに作成

小中学生の不登校の  
中身を分析すると...





# 子どもたちの心にある、 たくさんのことを 思いながら授業を



## 語り手養成講座

■ がんの知識：国立がん研究センターがん対策情報センター長：若尾文彦先生



■ 実践報告：鹿児島市（伊敷中学校養護教諭）  
：薩摩川内市（薩摩川内市教育委員会）  
：語り手として（じゃすみん高橋さん）  
：運営者として（がんサポ三好）



2015年9月20日（日）  
2015年9月21日（祝）  
いのちの授業  
語り手講座

参加費：2000円（がんサポートがしよ会員無料）定員：20名  
場 所：鹿児島県立総合保健センター2 F講堂  
（鹿児島市下伊敷3-1-7）  
対 象：がん患者さん、がん教育に興味を持っている方  
授業をするためのノウハウをすべて教えます！  
（がん教育として、子どもたちががんの知識を得るための教材や教材作成、全国各  
地で実施しています。2015年秋から2016年春にかけてがんサポートがしよのプロジェクト  
実施の準備がすすんでいます。ぜひこの機会にご参加ください。）

国立がん研究センターがん対策情報センター長「子どもたちの心にある、たくさんのことを思いながら授業を」に関する研修会が実施されています。

■ 9月20日授業  
『国がん対策情報センター長「子どもたちの心にある、たくさんのことを思いながら授業を」』  
■ 9月21日授業  
『子どもたちに向けて授業をするためのノウハウをすべて教えます！』

NPO法人がんサポートがしよ  
が、本講座を通じて子どもたちの授業にDVDを授けたり、実践体験機会を提供します。

子どもたちに「語る」ための力を付けたら、がんの知識や実践体験機会を必要とする方、ワークショップを実施したい方があります。

NPO法人  
がんサポートがしよ  
〒890-8511  
鹿児島市下伊敷3-1-7  
099-220-1890  
gansupport@noma.ocn.ne.jp



# がん患者が 伝えることの 意義

## 心に残る授業を

---

- ①必ずクラス単位で授業
- ②一人一人と目を合わせ、  
なるべく名前を呼ぶ
- ③講演会ではなく授業である
- ④主役は「私」ではなく  
「子どもたち」である





## 子どもたちの感想～知識のこと～

がんという病気は、死に至る可能性もあるけど、  
家族や友人の支えをととても実感できる、そして生  
きることを大切に思うことができる病気なんだな

大人になったら  
検診を受けなくちゃ

がんって  
うつらないんだ

副流煙を  
吸わないように  
しよう

思っていたよりも  
元気だった



## 子どもたちの感想～自分とみんなのいのち～

三好さんが「死にたいと思ったことがありますか」と聞  
いたとき、ドキッとしました。わたしは手を挙げなかつ  
たけど思ったことは何回もあります。わたしは、他の人  
にとって必要なのかと思ったこともあります。

でも三好さんの話を聞いて、かみづるさんのバトンタッ  
チを受け取って生きていきたいと思います。

私でも生きてって  
いいんだ。  
同じ人を助ける  
仕事に就きたい

いじめられている  
どうしたら  
いいですか？

いじめられている  
子に話しかけたよ



## 子どもたちの感想～家族のこと～

亡くなった祖父も  
こうやって  
生ききったんだ

亡くなった  
お母さんが  
元気な頃を  
思い出した

亡くなるのは  
怖いけど、  
かみづるさんのよう  
に生きればいいんだ

お父さんが  
がんのことを  
話してくれた

未来に生きるあなたたちに、いのちを  
バトンタッチします。かけがえのないあなたらしい  
人生を楽しんでね。すてきな出会いありがとう。

2011.12月

がんサポートがごしま

上水流 政美



## がん患者だから伝えられること

### ■ リアリティをもたせる大切さ

- ・ 本やテレビの中の「遠い話」ではなく、目の前に「本当の」がん患者が来て話すリアリティ

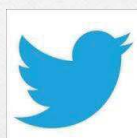
### ■ がんになった体験を伝えられる

- ・ 知識だけではない、心模様や生き方の教育

## 連絡先



三好綾



miyoshi\_aya



## NPO法人がんサポートかごしま

鹿児島市下伊敷3-1-7  
鹿児島県民総合保健センター2F  
099-220-1888



# ●●小学校 6年1組 学級活動指導案

平成27年7月15日(水) 3校時  
 10:40~11:25  
 担任名:○○○○先生  
 授業者名:三好綾

## ■ 学習の展開

時間	(分)	学習活動	主な活動内容と教師の支援	材料
10:40	2	1 担任の先生から紹介	○簡単に名前だけ紹介してもらう	
10:42	8	2 自己紹介	○名前、今日話すこと	板書
		3 質問	○「今までに死んでしまいたいと思ったことがありますか？」	必ず自分以外は伏せてもらう
		4 がんのイメージ	○がん患者さんのイメージを聞く ・たばこを吸う ・お酒を飲む ・髪の毛がない ・いつも吐いている 「三好さんのイメージとどうですか？」	前回のアンケートパネル(イメージ)
10:50	15	5 がんの種類	○がんの種類を聞く 「三好さんは何のがんでしょうか？」	板書
		6 がん患者さんの体験を聞く	○質問に答えて体験を話す ・治療のこと 「こんな治療をしました」 ・がんの告知を受けたときの気持ち 「悲しかった、怖かった」 ・支えてくれたこと 「家族、友達、患者会の仲間」	
11:05	10	7 旅立った患者さんについてのお話を聞こう	○「かみづるさんのいのちの授業」スライドを見てもらう	PPT映す
11:15	3	8 これからのこと	○2つのお約束 ・今日聞いたお話を誰かに伝えましょう ・「死ね」という言葉を使わない	
11:18	5	9 振り返り	○感想を言ってもらおう	
11:23	2	10 担任から	○先生から一言	
11:25			終わり	

# 「いのちの授業」中学校用学級活動指導案

クラス

---

担任

---

担当

---

サブ

---

## 3 学習の展開

時間	(分)	学習活動	主な活動内容と教師の支援	材料
	1	1 担任から紹介	○簡単に名前だけ紹介してもらう	
	4	2 自己紹介	○名前、今日話すこと	板書
		3 質問	○「今までに死んでしまいたいと思ったことがありますか？」	必ず自分以外は伏せてもらう
		6 がん患者さんの体験を聞く	○体験を話す ・治療のこと 「こんな治療をしました」 ・がんの告知を受けたときの気持ち 「悲しかった、怖かった」 ・支えてくれたこと 「家族、友達、患者会の仲間」	
	10	7 旅立った患者さんについてのお話を聞こう	○「かみづるさんのいのちの授業」スライドを見てもらう	PPT映す
	15	8 これからのこと	○2つのお約束 ・今日聞いたお話を誰かに伝えましょう ・「死ね」という言葉を使わない	
	3	9 振り返り	○感想を言ってもらう	
	2	10 担任から	○先生から一言	
	50		終わり	



## 『いのちの授業』のアンケート【事前】

このアンケートは「いのちの授業」を受ける前に、「がん」のこと、「がん患者さん」のことを聞くためのものです。答えるときに、気持ちがしんどくなった時は無理に書かなくても大丈夫です。

あなたの気持ちに最も近い番号に○をつけてください。

小 年 組 1 男 2 女

### 【がんの知識について】

Q 1. がんは体の中で異常な細胞が増えてしまう病気です

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 2. がんになる原因は1つだけです

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 3. がんは誰もがかかると可能性のある病気です

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 4. がんを予防するには、たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどの方法があります

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 5. 体の調子が悪くないので、定期的に検診を受けなくてもよいです

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 6. がんの治療には、手術、放射線、抗がん剤の方法があります

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 7. がんの痛みは我慢するしかないです

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

### 【がんについて】

Q 8. がんは身近な病気だと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

Q 9. がんは怖い病気だと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

Q 10. がん検診を受けられる年齢になったら、積極的に検診を受けようと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

Q 11. あなたの家族や身近な人で、がんになった人がいますか

( 1. はい            2. いいえ            3. わからない )

【裏もあります】

【がん患者さんや家族について】

Q12. がんを学ぶことで、がん患者への理解が深まると思いますか

( 1. そう思う      2. 思わない      3. わからない )

Q13. がん患者への差別や偏見のない社会の実現に努めようと思いますか

( 1. そう思う      2. 思わない      3. わからない )

Q14. 家族や身近な人とがんについて話し合おうと思いますか

( 1. そう思う      2. 思わない      3. わからない )

Q15. がんになっても充実した生き方ができると思いますか

( 1. そう思う      2. 思わない      3. わからない )

【いのちの大切さについて】

Q16. がんを学ぶことで、いのちの大切さを考えることができると思いますか

( 1. そう思う      2. 思わない      3. わからない )

Q17. あなたは「いのち」について真剣に考えたことはありますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

Q18. あなたは死ぬことは怖いと思いますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

Q19. 家族と「いのち」について話すことはありますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

Q20. あなたは「いのち」を大切にしたいと思いますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

Q21. あなたは家族や友人に対して、冗談で「死ね」と言ったことがありますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

Q22. あなたは家族や友人に対して、冗談で「死ね」と言うことについて、絶対にしてはいけないことだ  
と思いますか

( 1. はい      2. いいえ      3. わからない )

ありがとうございました。



## 『いのちの授業』のアンケート【事後】

このアンケートは「いのちの授業」を受けた後に、「がん」のこと、「がん患者さん」のことを聞くためのものです。答えるのがしんどい時は無理に書かなくても大丈夫です。

あなたの気持ちに最も近い番号に○をつけてください。

小 年 組 1 男 2 女

### 【がんの知識について】

Q 1. がんは体の中で異常な細胞が増えてしまう病気です

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 2. がんになる原因は1つだけです

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 3. がんは誰もがかかる可能性のある病気です

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 4. がんを予防するには、たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどの方法があります

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 5. 体の調子が悪くないので、定期的に検診を受けなくてもよいです

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 6. がんの治療には、手術、放射線、抗がん剤の方法があります

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

Q 7. がんの痛みは我慢するしかありません

( 1. 正しい            2. 誤り            3. わからない )

### 【がんについて】

Q 8. がんは身近な病気だと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

Q 9. がんは怖い病気だと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

Q 10. がん検診を受けられる年齢になったら、積極的に検診を受けようと思いますか

( 1. そう思う            2. 思わない            3. わからない )

【裏もあります】

【がん患者さんや家族について】

Q11. がんを学ぶことで、がん患者への理解が深まると思えますか

( 1. そう思う          2. 思わない          3. わからない )

Q12. がん患者への差別や偏見のない社会の実現に努めようと思えますか

( 1. そう思う          2. 思わない          3. わからない )

Q13. 家族や身近な人とがんについて話し合おうと思えますか

( 1. そう思う          2. 思わない          3. わからない )

Q14. がんになっても充実した生き方ができると思えますか

( 1. そう思う          2. 思わない          3. わからない )

【いのちの大切さについて】

Q15. がんを学ぶことで、いのちの大切さを考えることができると思えますか

( 1. そう思う          2. 思わない          3. わからない )

Q16. あなたは死ぬことは怖いと思えますか

( 1. はい                  2. いいえ              3. わからない )

Q17. あなたは「いのち」を大切にしたいと思えますか

( 1. はい                  2. いいえ              3. わからない )

Q18. あなたは家族や友人に対して、冗談で「死ね」と言うことについて、絶対にしてはいけないことだと思えますか

( 1. はい                  2. いいえ              3. わからない )

Q19. あなたは「いのち」について真剣に考えていこうと思えますか

( 1. はい                  2. いいえ              3. わからない )

Q20. 「いのちの授業」を受けたあと、家族と「いのち」について話しましたか

( 1. はい                  2. いいえ              3. これから話そうと思う      4. 話さない )

Q21. 「いのちの授業」を受けたことで、がんのイメージに変化はありましたか

( 1. はい                  2. いいえ              3. わからない )

Q22. イメージの変化について

( 1. 「良い」イメージに変化      2. 「悪い」イメージに変化      3. 決められない )

ありがとうございました。



【アンケート実施概要】

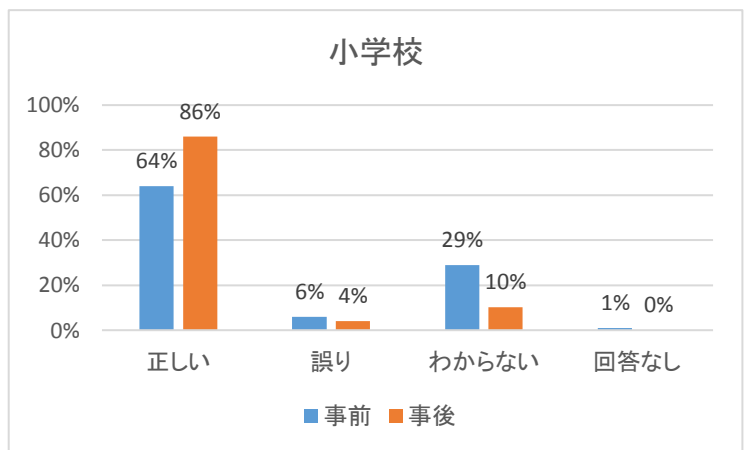
- アンケート名  
: 児童・生徒を対象にした「いのち授業」実施による「がん」と「いのちの大切さ」に対する意識調査
- アンケート実施の目的  
: 「いのちの授業」を実施することで、対象となる子どもたちにどのような変化があるか調査することを目的とした
- アンケート実施日程  
: 平成27年7月～平成28年3月
- 実施校数  
28校 (小学校: 25校、中学校: 4校)
- 実施対象人数  
2,086名 (小学校: 1,384名、中学校: 702名)
- 回答数  
2,010名 (小学校: 1364名、中学校: 646名) 小学校回答率98%、中学校回答率92%
- 実施地域  
鹿児島市: 16校、薩摩川内市: 3校、伊佐市: 8校、出水市: 1校
- 実施方法  
担任教諭より教室にて無記名にて実施。事前アンケートは、冊子で教諭よりがんの知識を教える前に実施。事後アンケートは、授業実施から約1週間後に実施。

Q1、がんは体の中で異常な細胞が増えてしまう病気です

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	879	64%	1132	86%
誤り	83	6%	60	4%
わからない	395	29%	139	10%
回答なし	7	1%	4	0%
	1364	100%	1335	100%

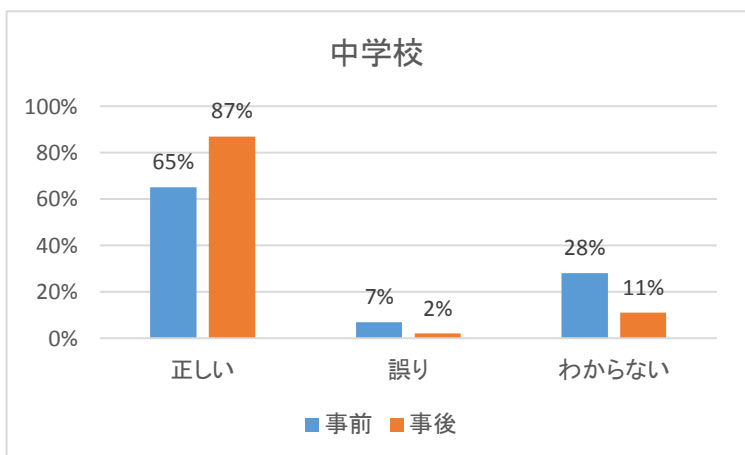
「正しい」と答えた率が64%から、86%となり、知識の向上に変化が見られた。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	418	65%	555	87%
誤り	43	7%	15	2%
わからない	184	28%	69	11%
回答なし	1	0%	3	0%
	646	100%	642	100%

「正しい」と答えた率が65%から、87%となり、知識の向上に変化が見られた。

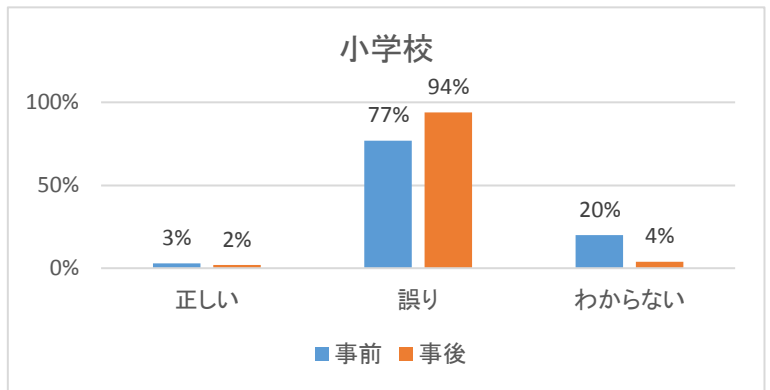


Q2、がんになる原因は1つだけです

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	38	3%	27	2%
誤り	1056	77%	1248	94%
わからない	268	20%	58	4%
回答なし	2	0%	2	0%
	1364	100%	1335	100%

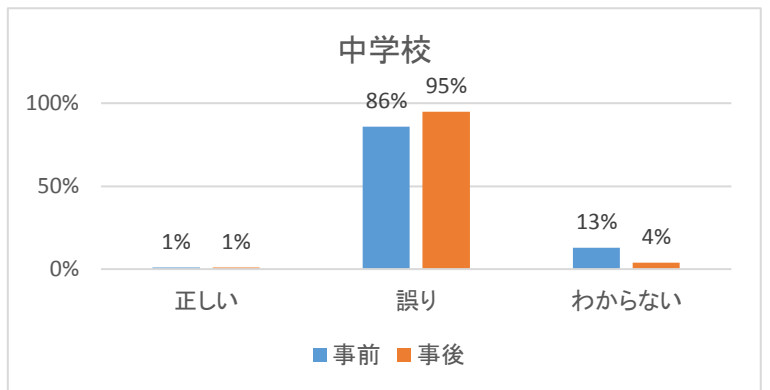
「誤り」と答えた率が77%から、94%となり、知識の向上に変化が見られた。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	8	1%	6	1%
誤り	555	86%	607	95%
わからない	83	13%	27	4%
回答なし	0	0%	2	0%
	646	100%	642	100%

「誤り」と答えた率が86%から、95%となり、知識の向上に変化が見られた。

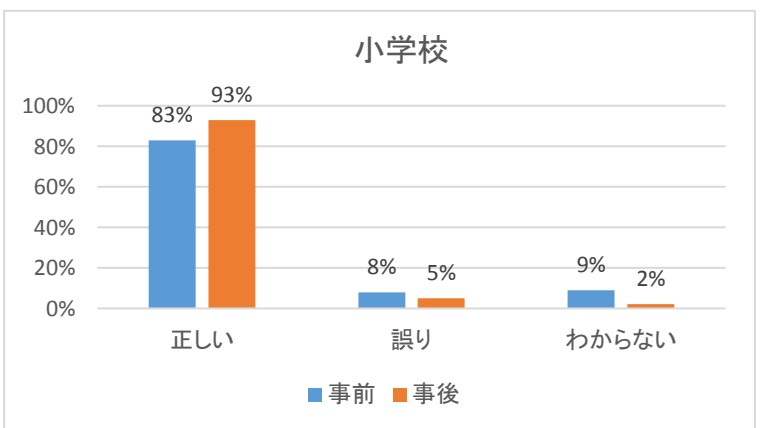


Q3、がんは誰もがかかる可能性のある病気です

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	1131	83%	1238	93%
誤り	114	8%	62	5%
わからない	116	9%	32	2%
回答なし	3	0%	3	0%
	1364	100%	1335	100%

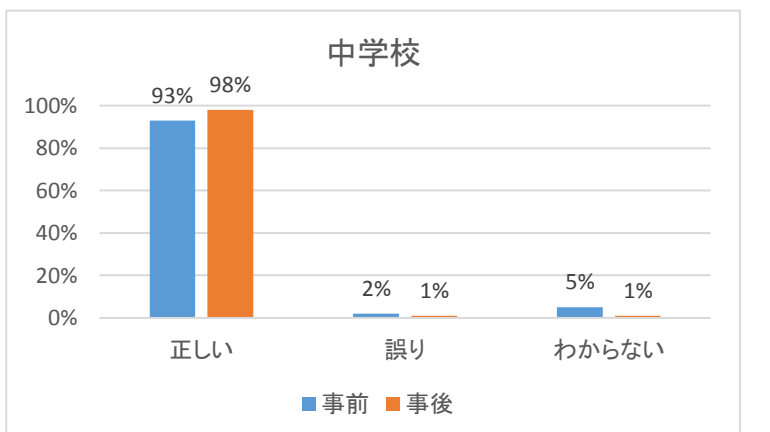
「正しい」と答えた率が83%から、93%となり、知識の向上に変化が見られた。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	603	93%	625	98%
誤り	13	2%	7	1%
わからない	30	5%	8	1%
回答なし	0	0%	2	0%
	646	100%	642	100%

「正しい」と答えた率が93%から、98%となり、知識の向上に変化が見られた。  
中学生になると、がんについての知識が基礎的にあることが伺える。



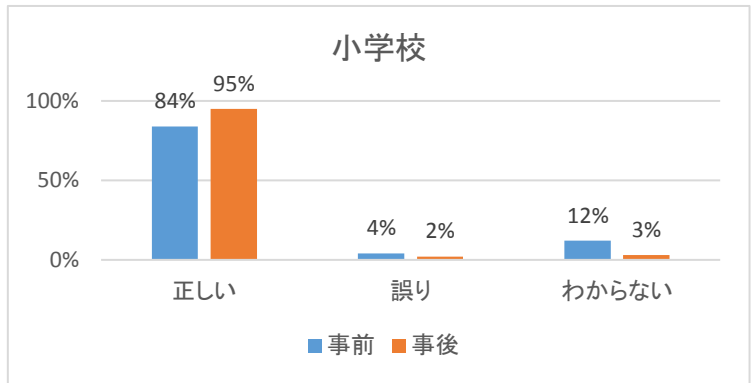


**Q4、がんを予防するには、たばこを吸わないこと、バランスよく食事をする事、適度な運動をすることなどの方法があります**

**【小学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	1150	84%	1262	95%
誤り	50	4%	34	2%
わからない	164	12%	36	3%
回答なし	0	0%	3	0%
	1364	100%	1335	100%

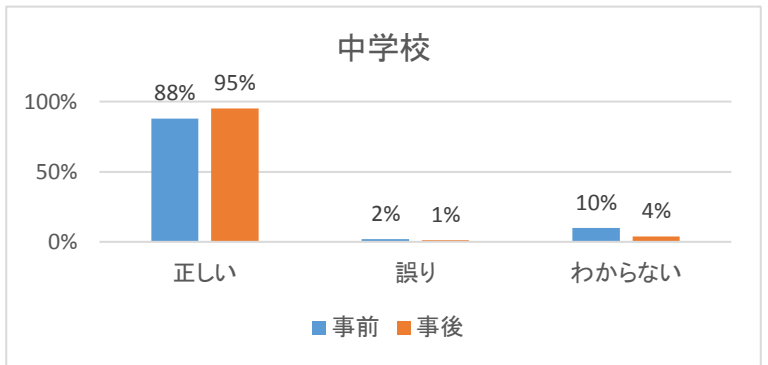
「正しい」と答えた率が84%から、95%となり、知識の向上に変化が見られた。



**【中学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	569	88%	611	95%
誤り	11	2%	7	1%
わからない	65	10%	23	4%
回答なし	1	0%	1	0%
	646	100%	642	100%

「正しい」と答えた率が88%から、95%となり、知識の向上に変化が見られた。

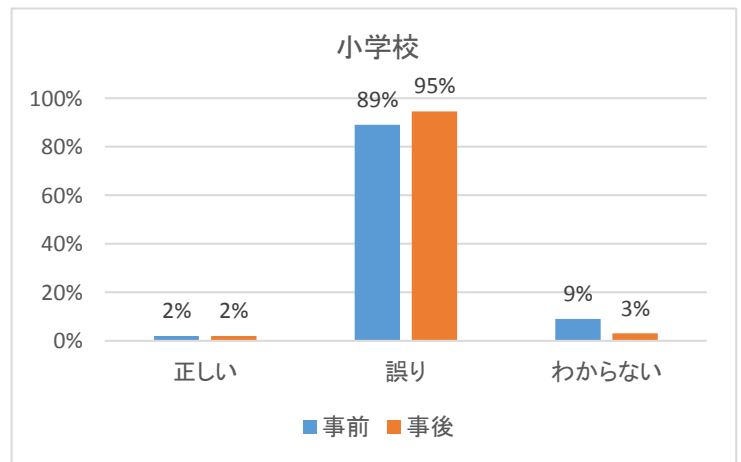


**Q5、体の調子が悪くないので、定期的に検診を受けなくてもよいです**

**【小学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	29	2%	33	2%
誤り	1209	89%	1265	95%
わからない	123	9%	34	3%
回答なし	3	0%	3	0%
	1364	100%	1335	100%

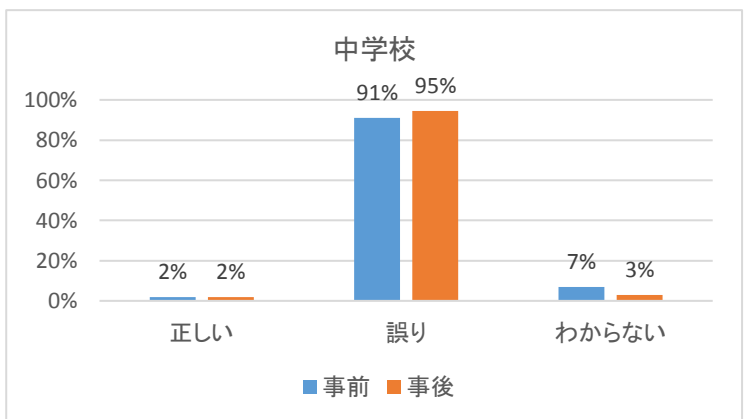
「誤り」と答えた率が89%から、95%となり、知識の向上に変化が見られた。



**【中学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	13	2%	12	2%
誤り	585	91%	607	95%
わからない	46	7%	21	3%
回答なし	2	0%	2	0%
	646	100%	642	100%

「誤り」と答えた率が91%から、95%となり、知識の向上に変化が見られた。

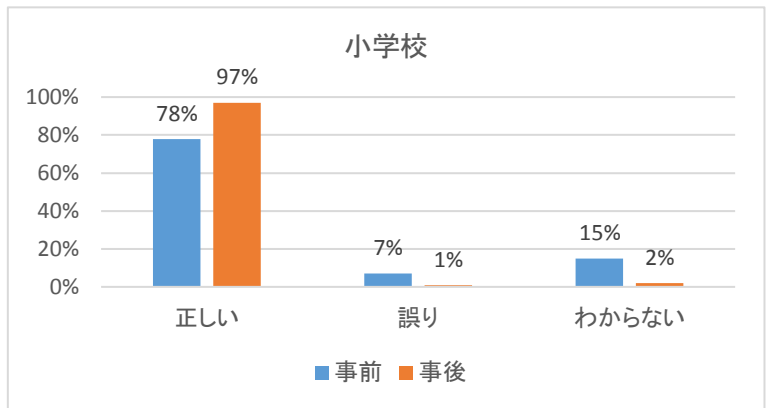


Q6、がんの治療には、手術、放射線、抗がん剤の方法があります

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	1048	78%	1294	97%
誤り	100	7%	13	1%
わからない	210	15%	28	2%
回答なし	6	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

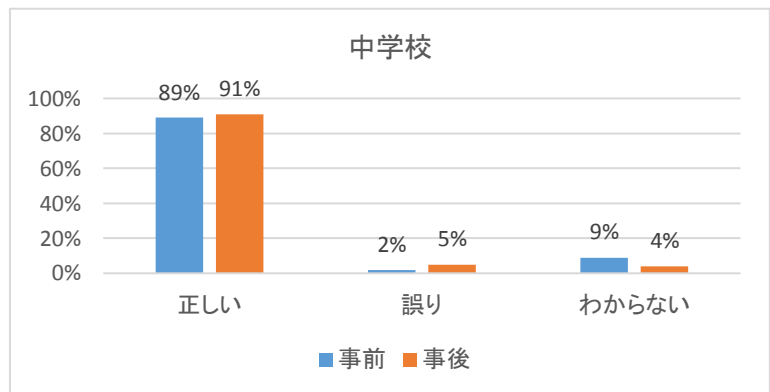
「正しい」と答えた率が78%から、97%となり、知識の向上に変化が見られた。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	575	89%	580	91%
誤り	10	2%	34	5%
わからない	57	9%	26	4%
回答なし	4	0%	2	0%
	646	100%	642	100%

「正しい」と答えた率が89%から、91%となり、知識の向上に変化が見られた。

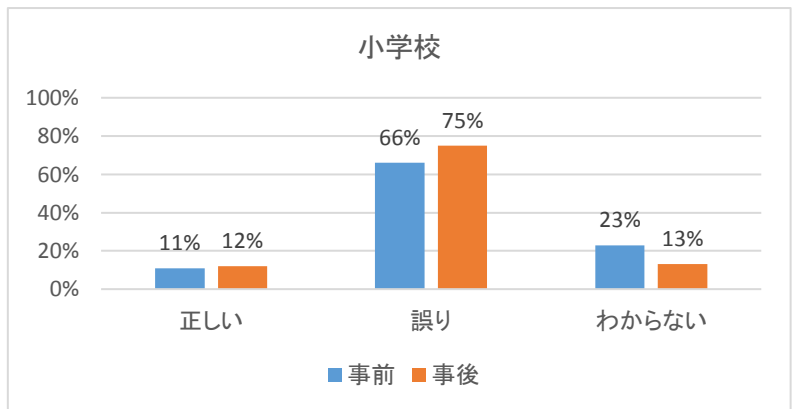


Q7、がんの痛みは我慢するしかないです

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	149	11%	164	12%
誤り	895	66%	998	75%
わからない	318	23%	170	13%
回答なし	2	0%	3	0%
	1364	100%	1335	100%

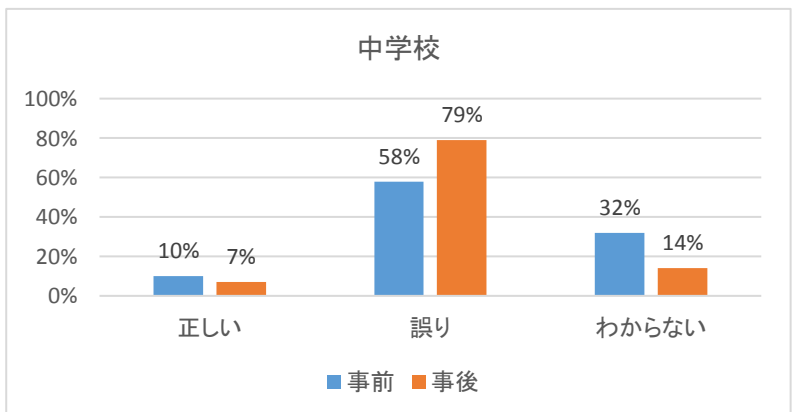
「誤り」と答えた率が66%から、75%となり、知識の向上に変化が見られたが、「正しい」と答えた子どもも12%いるため、改善が必要。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
正しい	67	10%	46	7%
誤り	369	58%	501	79%
わからない	207	32%	93	14%
回答なし	3	0%	2	0%
	646	100%	642	100%

「誤り」と答えた率が58%から、79%となり、知識の向上に変化が見られたが、「正しい」と答えた子どもも7%いるため、改善が必要。



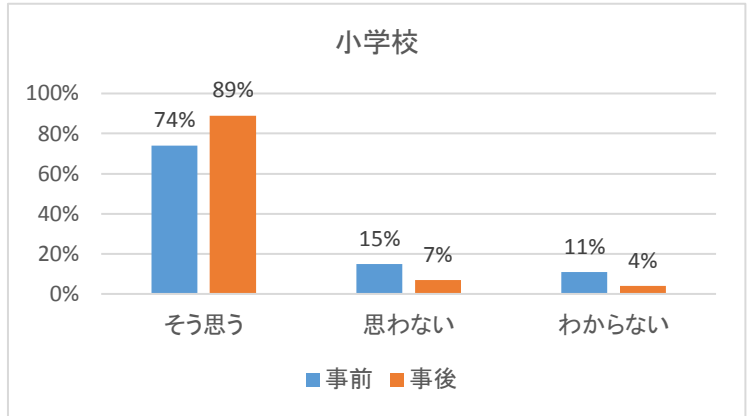


**Q8、がんは身近な病気だと思いますか**

**【小学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1007	74%	1190	89%
思わない	198	15%	96	7%
わからない	155	11%	48	4%
回答なし	4	0%	1	0%
	1364	100%	1335	100%

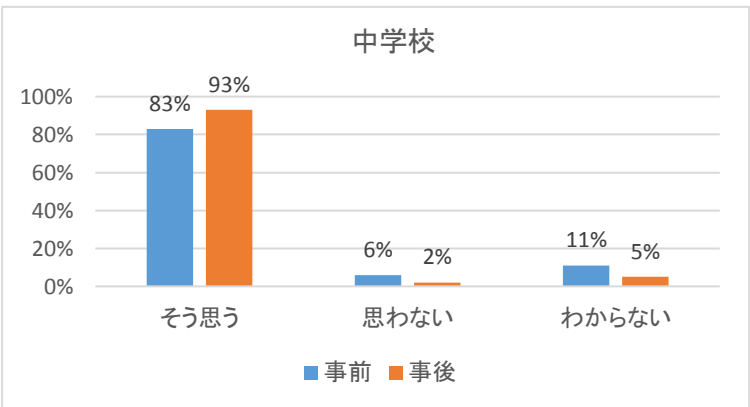
がんを「身近な病気」と答えた率が、74%から89%と変化があった。がん患者が教室にやってきて、授業をすることで変化があったことが予想される。



**【中学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	533	83%	597	93%
思わない	39	6%	14	2%
わからない	73	11%	30	5%
回答なし	1	0%	1	0%
	646	100%	642	100%

がんを「身近な病気」と答えた率が、83%から93%と変化があった。がん患者が教室にやってきて、授業をすることで変化があったことが予想される。

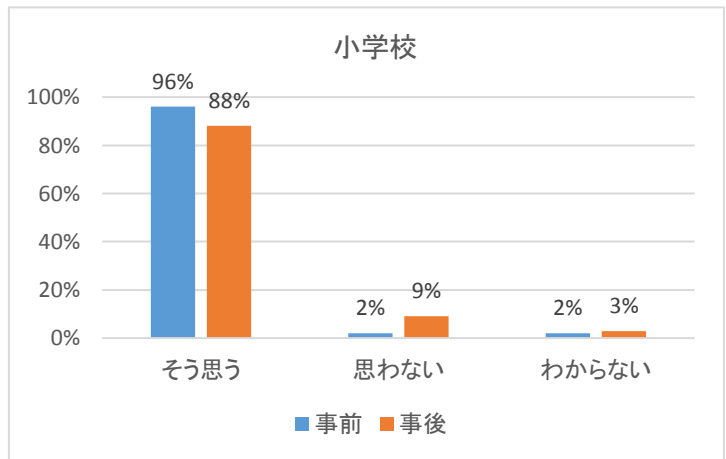


**Q9、がんは怖い病気だと思いますか**

**【小学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1305	96%	1173	88%
思わない	25	2%	123	9%
わからない	33	2%	39	3%
回答なし	1	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

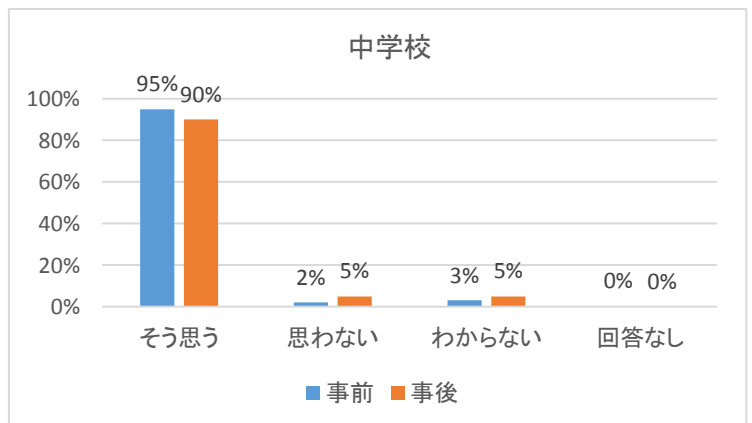
「そう思う」と答えた率が96%から、88%となった。比較的、体調が安定しているがん患者が話すことで、がんへのイメージの変化があったと予想される。ただし亡くなった患者の話もするため「思わない」と答えた率も増えている。



**【中学校】**

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	610	95%	577	90%
思わない	14	2%	35	5%
わからない	21	3%	29	5%
回答なし	1	0%	1	0%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が95%から、90%とあまり大きな変化は見られなかった。中学生になると、旅立った患者のことを重きを置いて考えることも考えられる。

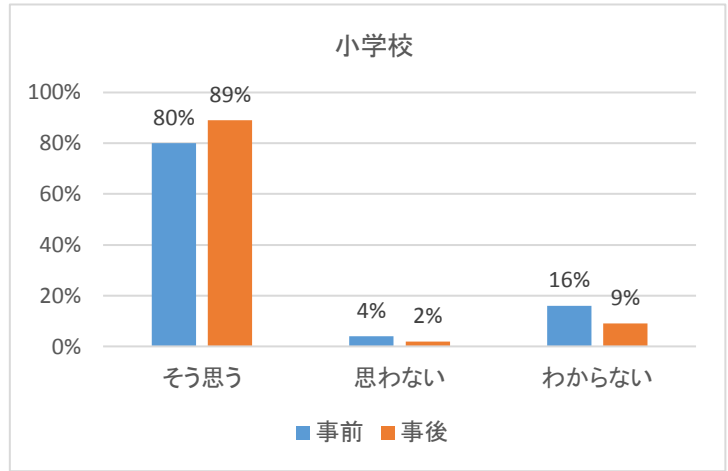


Q10、がん検診を受けられる年齢になったら、積極的に検診を受けようと思いますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1092	80%	1192	89%
思わない	53	4%	22	2%
わからない	219	16%	121	9%
回答なし	0	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

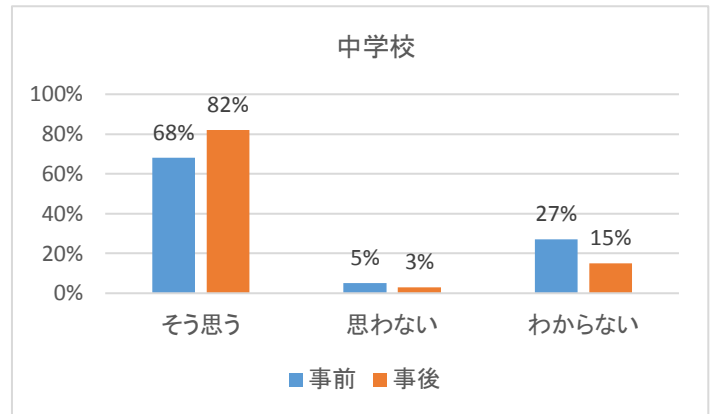
「そう思う」と答えた率が80%から、89%となった。子どもたち自身が、がん検診の必要性を理解したことが分かる。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	437	68%	525	82%
思わない	34	5%	19	3%
わからない	175	27%	97	15%
回答なし	0	0%	1	0%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が68%から、82%となった。子どもたち自身が、がん検診の必要性を理解したことが分かる。

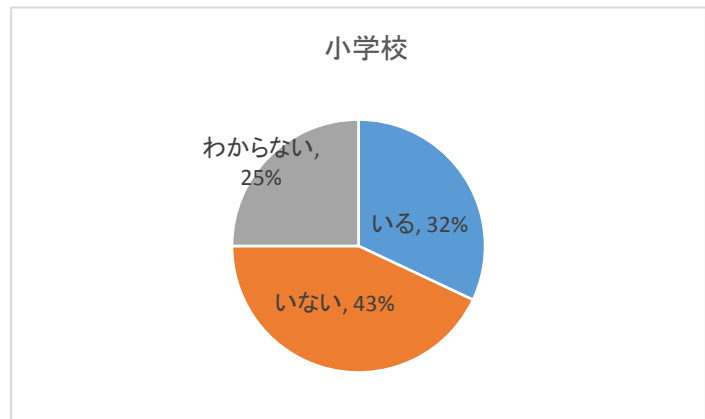


Q11、あなたの家族や身近な人で、がんになった人がいますか

【小学校】

項目	事前	
	人数	%
いる	441	32%
いない	584	43%
わからない	339	25%
回答なし	0	0%
	1364	100%

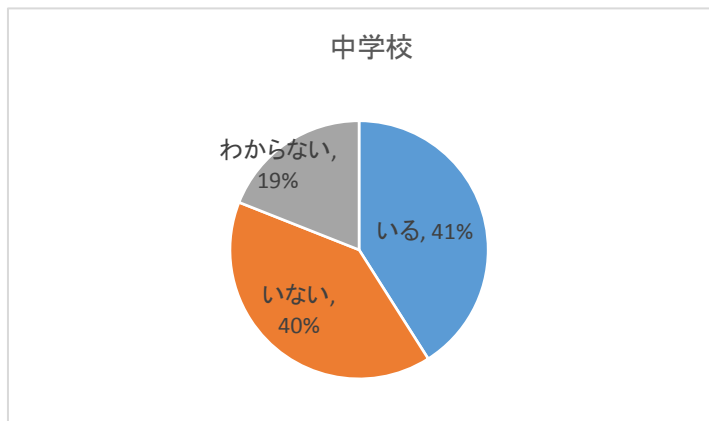
身近にがんになった人がいると答えた子どもは32%となった。教室の3割の子どもたちにとって、がんは身近な病となっている現状がわかった。



【中学校】

項目	事前	
	人数	%
いる	262	41%
いない	261	40%
わからない	123	19%
回答なし	0	0%
	646	100%

身近にがんになった人がいると答えた子どもは41%となった。教室の4割の子どもたちにとって、がんは身近な病となっている現状がわかった。



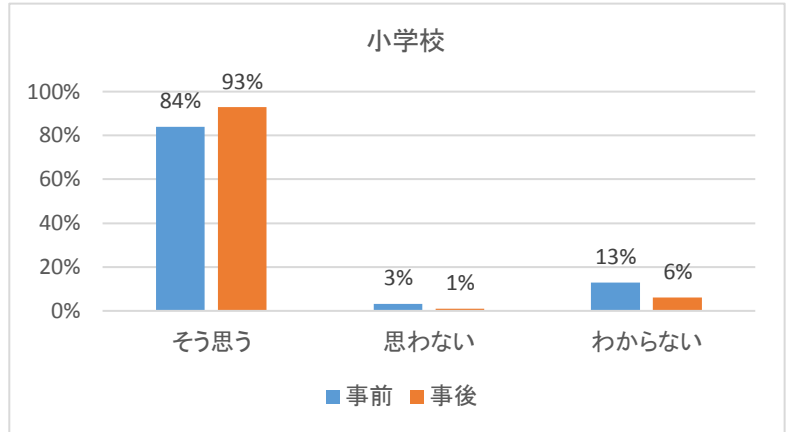


Q12、がんを学ぶことで、がん患者への理解が深まると思えますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1141	84%	1236	93%
思わない	38	3%	17	1%
わからない	183	13%	82	6%
回答なし	2	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

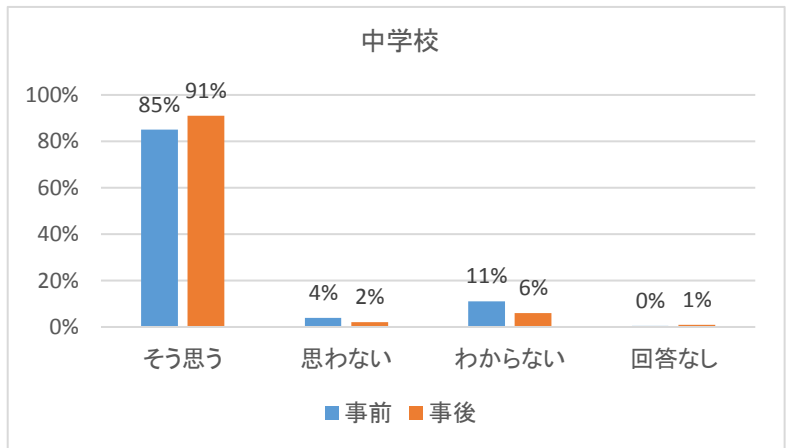
「そう思う」と答えた率が84%から93%となった。実際のがん患者の体験をリアルにきくことで、心模様や生活についてなど理解を深めてくれたことが感想文からも読める。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	544	85%	578	91%
思わない	28	4%	16	2%
わからない	71	11%	40	6%
回答なし	3	0%	8	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が85%から91%となった。実際のがん患者の体験をリアルにきくことで、心模様や生活についてなど理解を深めてくれたことが感想文からも読める。

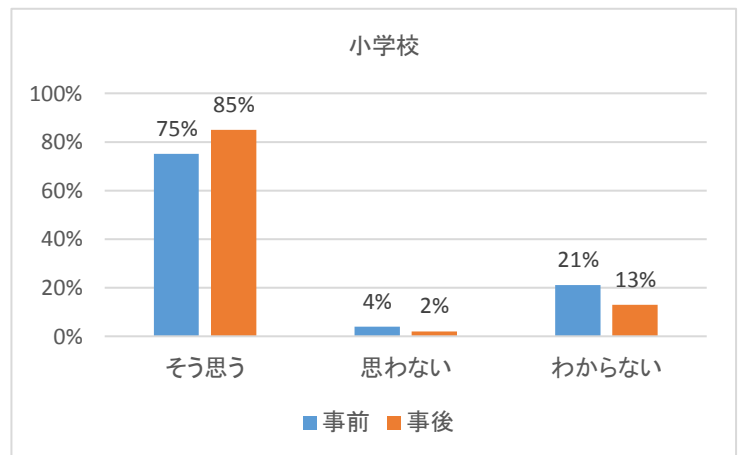


Q13、がん患者への差別や偏見のない社会の実現に努めようと思えますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1025	75%	1128	85%
思わない	59	4%	31	2%
わからない	274	21%	174	13%
回答なし	6	0%	2	0%
	1364	100%	1335	100%

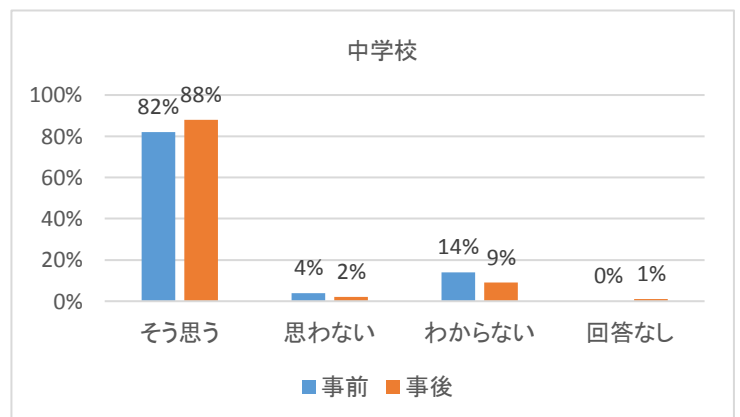
「そう思う」と答えた率が75%から85%となった。がん患者の話を聞くことでがん患者への理解が深まり、差別や偏見のない社会を目指す気持ちに変化があった。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	529	82%	564	88%
思わない	24	4%	12	2%
わからない	88	14%	59	9%
回答なし	5	0%	7	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が82%から88%となった。がん患者の話を聞くことでがん患者への理解が深まり、差別や偏見のない社会を目指す気持ちに変化があった。

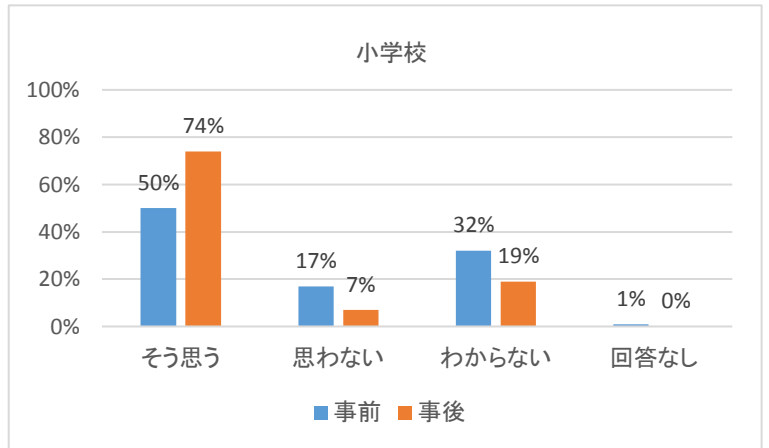


Q14、家族や身近な人とがんについて話し合おうと思いますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	687	50%	975	74%
思わない	237	17%	97	7%
わからない	434	32%	260	19%
回答なし	6	1%	3	0%
	1364	100%	1335	100%

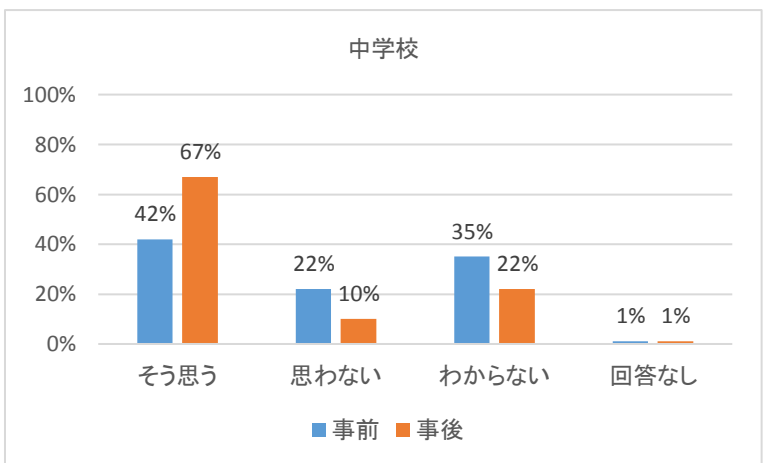
「そう思う」と答えた率が50%から74%となった。授業の中で「身近な人とまたこの話をしな」と伝えていたため話し合おうと思ってくれた率に変化があったことがわかる。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	270	42%	424	67%
思わない	145	22%	67	10%
わからない	226	35%	143	22%
回答なし	5	1%	8	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が42%から67%となった。授業の中で「身近な人とまたこの話をしな」と伝えていたため話し合おうと思ってくれた率に変化があったことがわかる。ただし小学生ほど伸びがないのは、思春期の中学生という理由もあるのかもしれない。

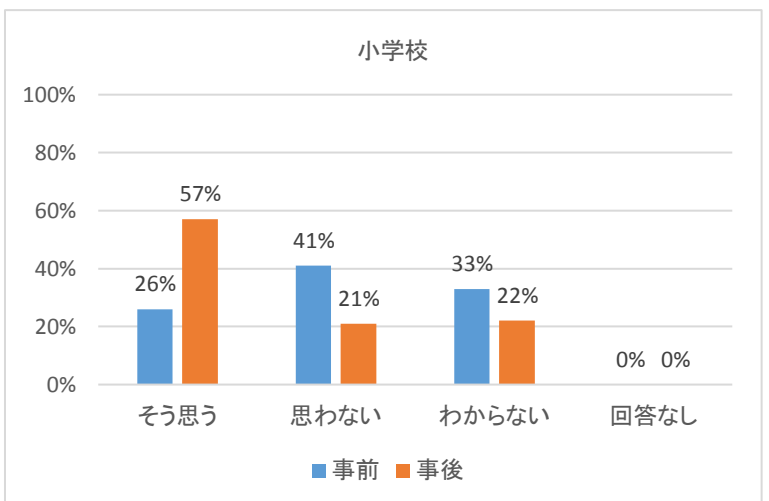


Q15、がんになっても充実した生き方ができると思いますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	350	26%	767	57%
思わない	557	41%	279	21%
わからない	451	33%	287	22%
回答なし	6	0%	2	0%
	1364	100%	1335	100%

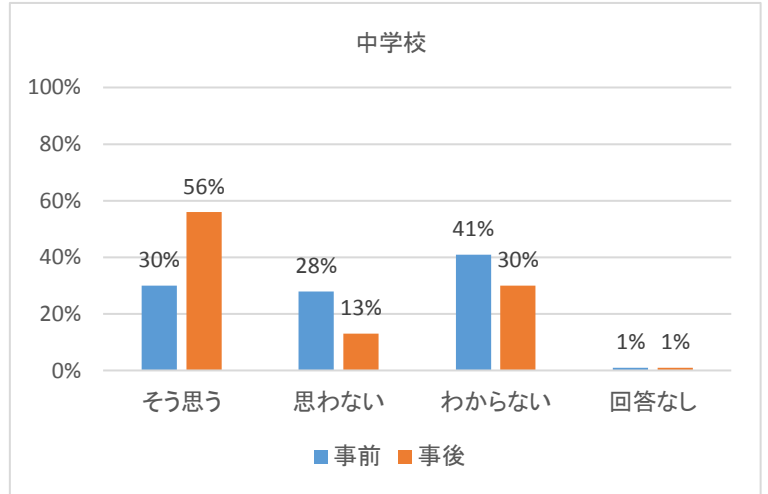
「そう思う」と答えた率が26%から57%となった。授業前は、がん患者に対するイメージは「死んでしまう」「暗い」などであったのが、元気な姿を実際に見ることで変化があったことが分かる。また亡くなった患者も最期まで自分らしく過ごすことが出来ることを知ったことからの変化もあるのではないかな。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	191	30%	357	56%
思わない	182	28%	84	13%
わからない	268	41%	193	30%
回答なし	5	1%	8	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が30%から56%となった。授業前は、がん患者に対するイメージは「死んでしまう」「暗い」などであったのが、元気な姿を実際に見ることで変化があったことが分かる。また亡くなった患者も最期まで自分らしく過ごすことが出来ることを知ったことからの変化もあるのではないかと。

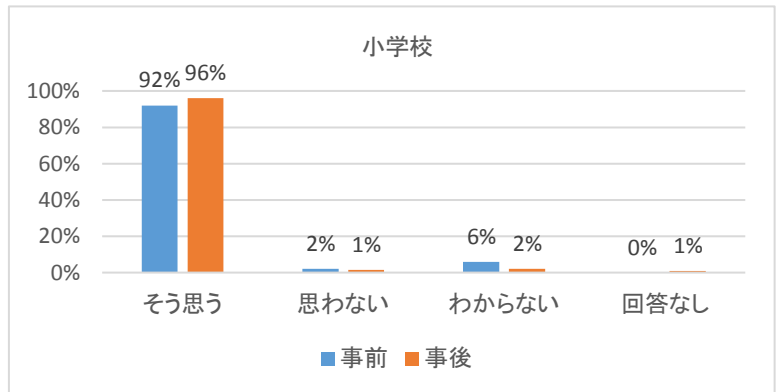


Q16、がんを学ぶことで、いのちの大切さを考えることができますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1257	92%	1286	96%
思わない	18	2%	11	1%
わからない	84	6%	31	2%
回答なし	5	0%	7	1%
	1364	100%	1335	100%

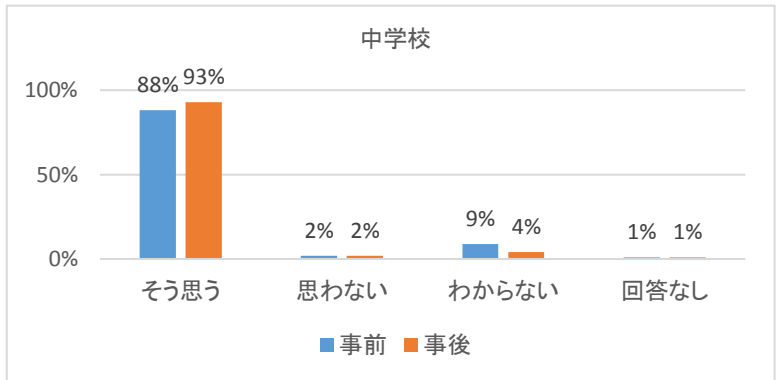
「そう思う」と答えた率が授業前から92%だったこともあり、子どもたちがいのちの大切さへの意識は高いものを持っていることが分かる。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	565	88%	599	93%
思わない	16	2%	11	2%
わからない	57	9%	25	4%
回答なし	8	1%	7	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率が授業前から88%だったこともあり、子どもたちがいのちの大切さへの意識は高いものを持っていることが分かる。

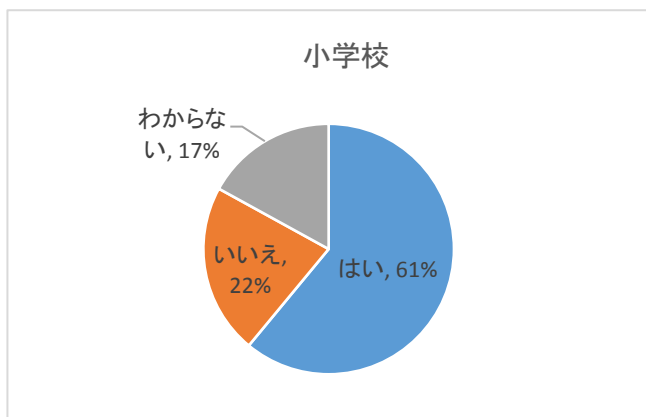


Q17、あなたは「いのち」について真剣に考えたことがありますか

【小学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	829	61%
いいえ	305	22%
わからない	229	17%
回答なし	1	0%
	1364	100%

「はい」と答えた率が61%である。小さい頃から、いのちの大切さについて学んではいるが、真剣に考えたことがある率は意外と少ないことが分かった。

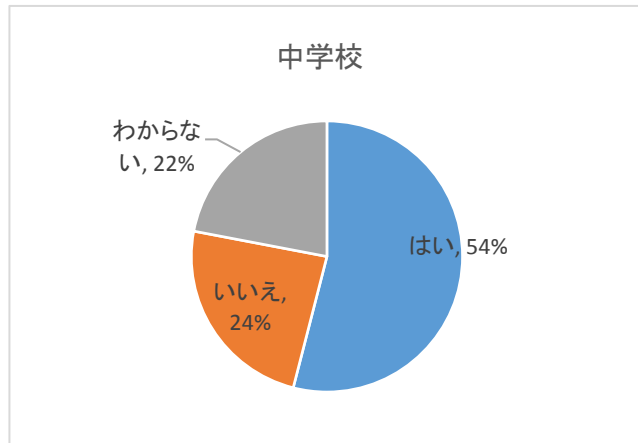




【中学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	344	54%
いいえ	157	24%
わからない	142	22%
回答なし	3	0%
	646	100%

「はい」と答えた率が54%である。中学生になると、割合が小学生に比べると半数近くにとどまることが特徴的である。

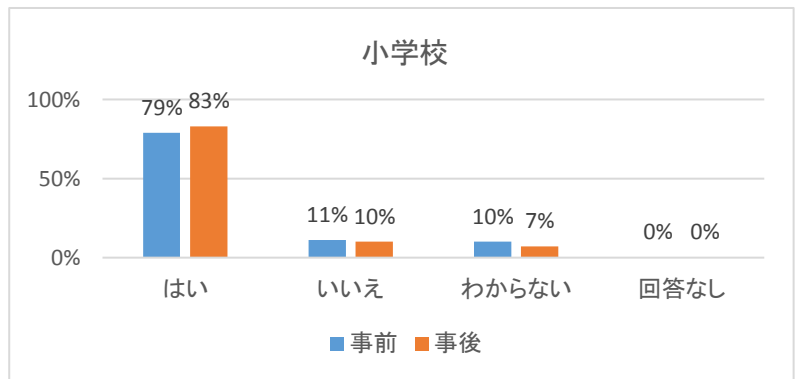


Q18、あなたは死ぬことは怖いと思いますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
はい	1077	79%	1107	83%
いいえ	143	11%	128	10%
わからない	140	10%	100	7%
回答なし	4	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

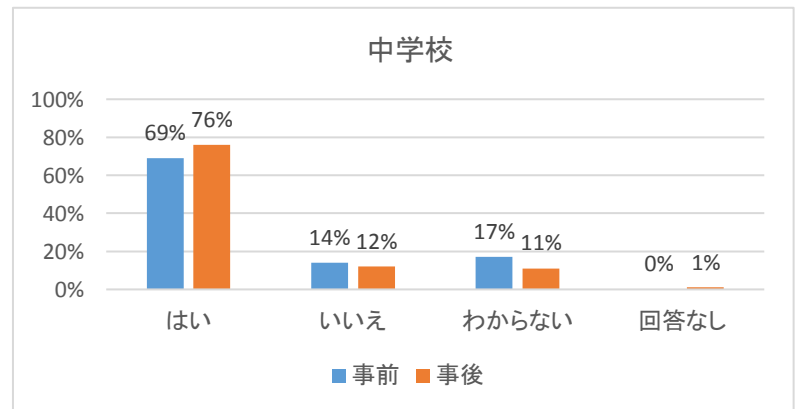
「はい」と答えた率が事前で79%である。死ぬことを怖くないと答えた子どもたちが11%いたことは驚いた。背景を考えなくてははいけない。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
はい	446	69%	491	76%
いいえ	88	14%	77	12%
わからない	111	17%	67	11%
回答なし	1	0%	7	1%
	646	100%	642	100%

「はい」と答えた率が事前で69%である。死ぬことを怖くないと答えた子どもたちが14%いたことは驚いた。背景を考えなくてははいけない。

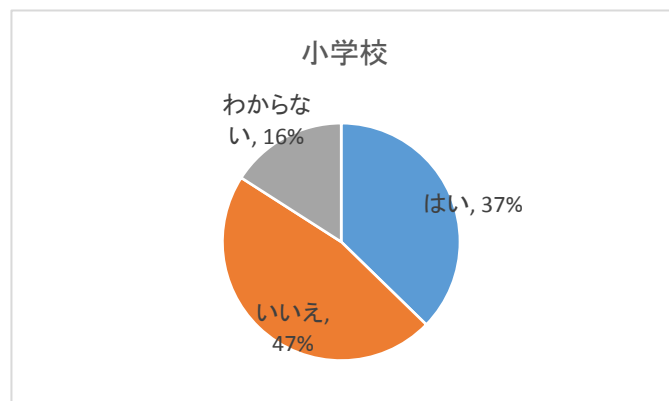


Q19、家族と「いのち」について話すことはありますか

【小学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	510	37%
いいえ	642	47%
わからない	206	16%
回答なし	6	0%
	1364	100%

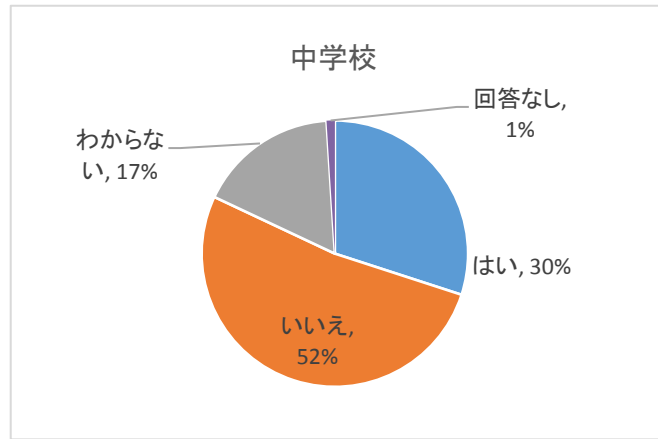
「はい」と答えた率が37%となっており、家庭で「いのち」について話す機会は少ないことが分かった。



【中学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	194	30%
いいえ	334	52%
わからない	111	17%
回答なし	7	1%
	646	100%

「はい」と答えた率が30%となっており、家庭で「いのち」について話す機会は少ないことが分かった。

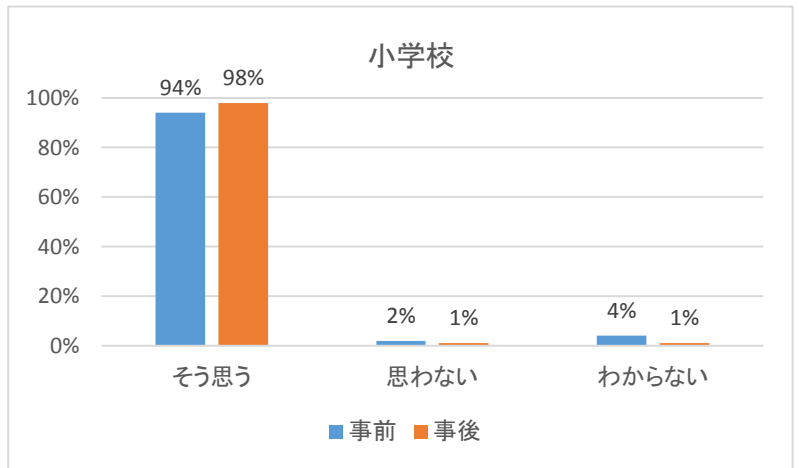


Q20、あなたは「いのち」を大切にしたいと思えますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1286	94%	1303	98%
思わない	25	2%	9	1%
わからない	49	4%	21	1%
回答なし	4	0%	2	0%
	1364	100%	1335	100%

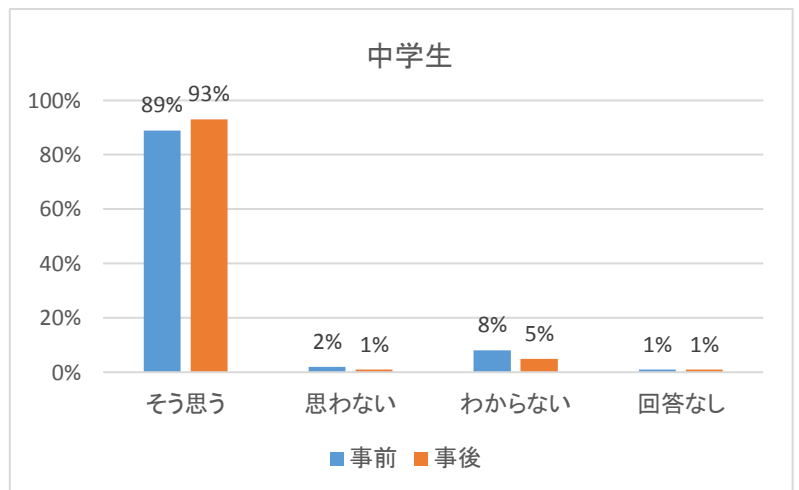
「そう思う」と答えた率は事前から94%と大変高く、いのちを大切だと思う教育が日頃からされていることがよくわかった。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	582	89%	597	93%
思わない	10	2%	5	1%
わからない	49	8%	33	5%
回答なし	5	1%	7	1%
	646	100%	642	100%

「そう思う」と答えた率は事前から89%と大変高く、いのちを大切だと思う教育が日頃からされていることがよくわかった。

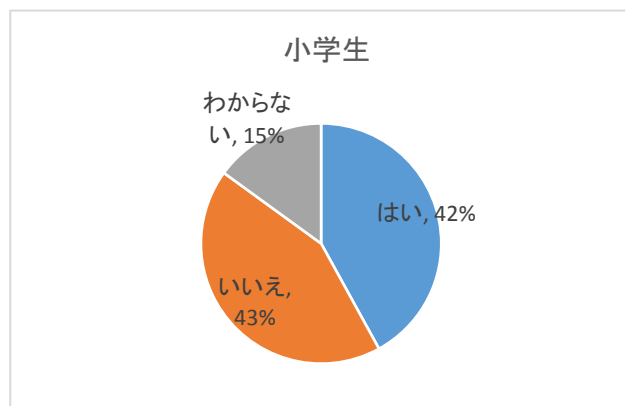


Q21、あなたは家族や友人に対して、冗談で「死ね」と言ったことがありますか

【小学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	575	42%
いいえ	580	43%
わからない	206	15%
回答なし	3	0%
	1364	100%

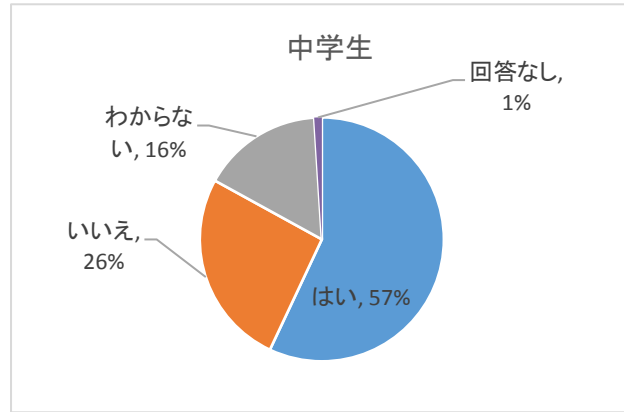
「死ね」という言葉を使ったことがある子どもは42%となり、かなりの割合で使っていることが分かった。



【中学校】

項目	事前	
	人数	%
はい	368	57%
いいえ	172	26%
わからない	101	16%
回答なし	5	1%
	646	100%

「死ね」という言葉を使ったことがある子どもは57%となり、かなりの割合で使っていることが分かった。  
小学生よりも高いことがわかる。

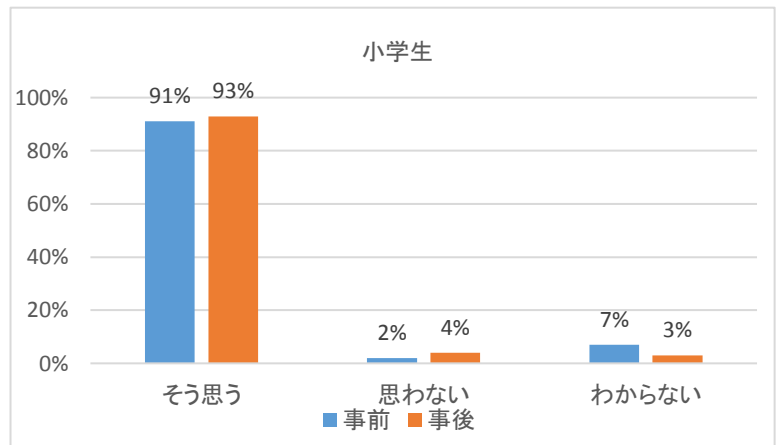


Q22、あなたは家族や友人に対して、冗談で「死ね」と言うことについて、絶対にしてはいけないことだと思いますか

【小学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	1239	91%	1245	93%
思わない	31	2%	48	4%
わからない	91	7%	42	3%
回答なし	3	0%	0	0%
	1364	100%	1335	100%

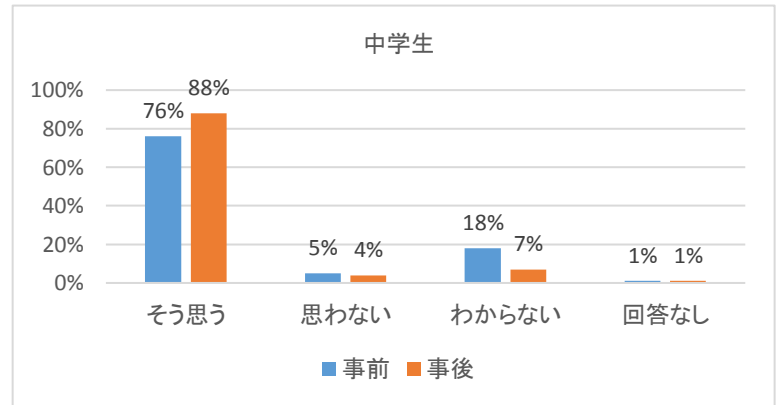
「死ね」という言葉を使うことに対して「使ってはいけない」と思っている子どもは91%となった。  
使ってはいけないと思っはいるが、使っている現状が見えてきた。



【中学校】

項目	事前		事後	
	人数	%	人数	%
そう思う	492	76%	566	88%
思わない	34	5%	28	4%
わからない	115	18%	41	7%
回答なし	5	1%	7	1%
	646	100%	642	100%

「死ね」という言葉を使うことに対して「使ってはいけない」と思っている子どもは76%となった。  
使ってはいけないと思っはいるが、使っている現状が見えてきた。

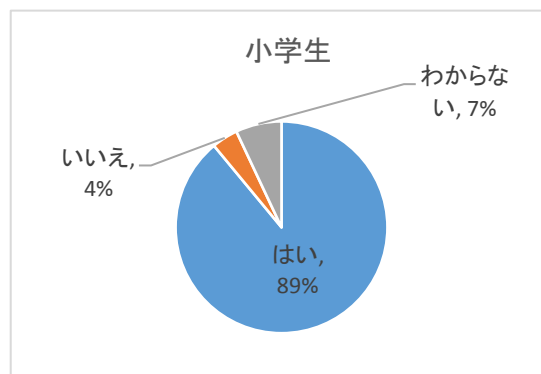


Q23、あなたは「いのち」について真剣に考えていこうと思いますか

【小学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	1184	89%
いいえ	59	4%
わからない	91	7%
回答なし	1	0%
	1335	100%

「はい」と答えた率が89%となり、授業を受けたあとに真剣に考えていこうと思ってくれた子どもが多かったことが分かった。

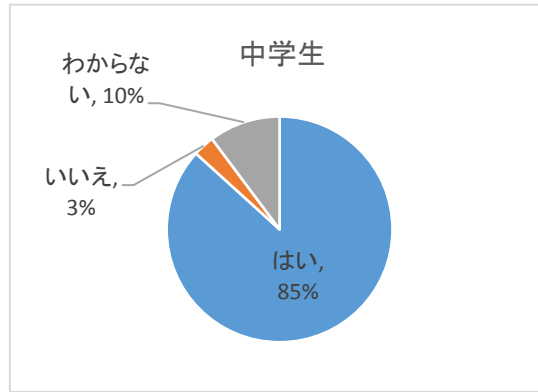




【中学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	548	85%
いいえ	19	3%
わからない	65	10%
回答なし	10	2%
	642	100%

「はい」と答えた率が85%となり、授業を受けたあとに真剣に考えていこうと思ってくれた子どもが多いことが分かった。

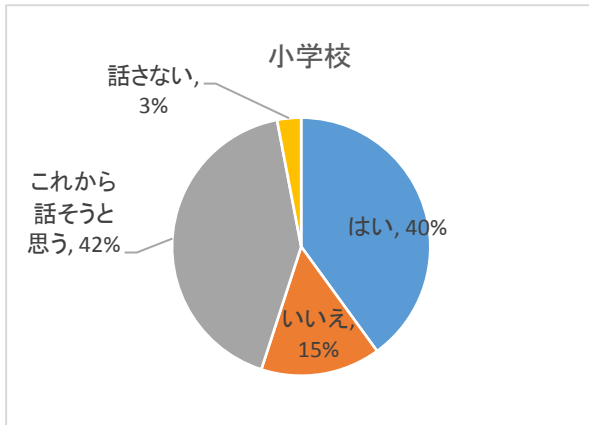


Q24、「いのちの授業」を受けたあと、家族と「いのち」について話しましたか

【小学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	540	40%
いいえ	204	15%
これから話そうと思う	553	42%
話さない	34	3%
回答なし	4	0%
	1335	100%

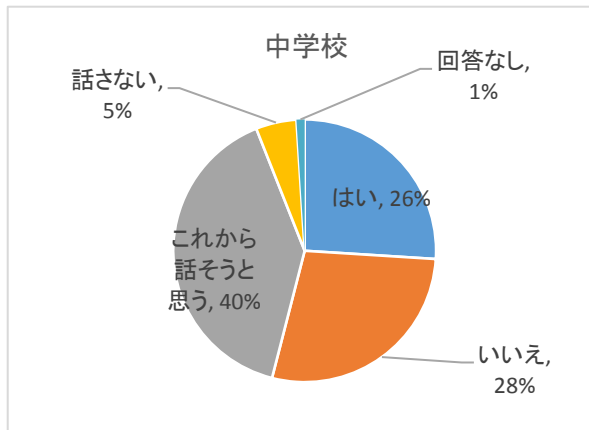
「はい」と答えた率が40%、「これから話そうと思う」が42%となり、8割近くの子どもが家族と話す気持ちになってくれた。



【中学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	165	26%
いいえ	180	28%
これから話そうと思う	257	40%
話さない	31	5%
回答なし	9	1%
	642	100%

「はい」と答えた率が26%、「これから話そうと思う」が40%となり、7割近くの子どもが家族と話す気持ちになってくれた。

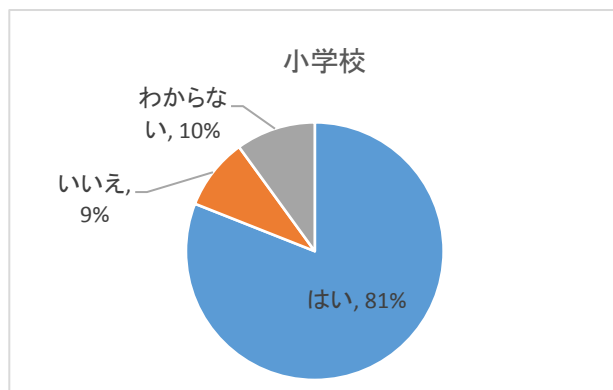


Q25、「いのちの授業」を受けたことで、がんのイメージに変化はありましたか

【小学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	1079	81%
いいえ	122	9%
わからない	133	10%
回答なし	1	0%
	1335	100%

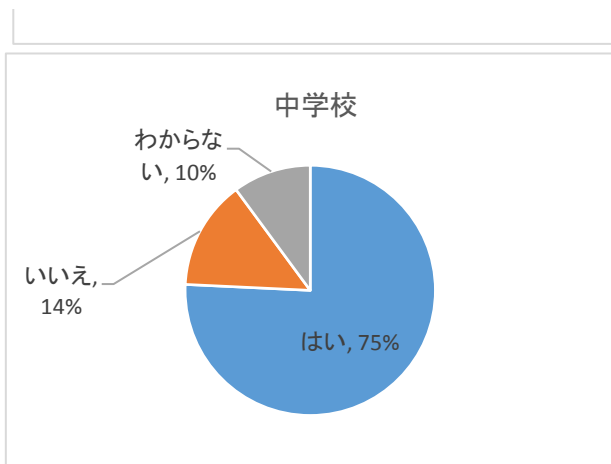
「はい」と答えた率が81%となり、多くの子どもが「がん」に対するイメージに変化がみられた。



【中学校】

項目	事後	
	人数	%
はい	479	75%
いいえ	90	14%
わからない	65	10%
回答なし	8	1%
	642	100%

「はい」と答えた率が75%となり、多くの子どもが「がん」に対するイメージに変化がみられた。

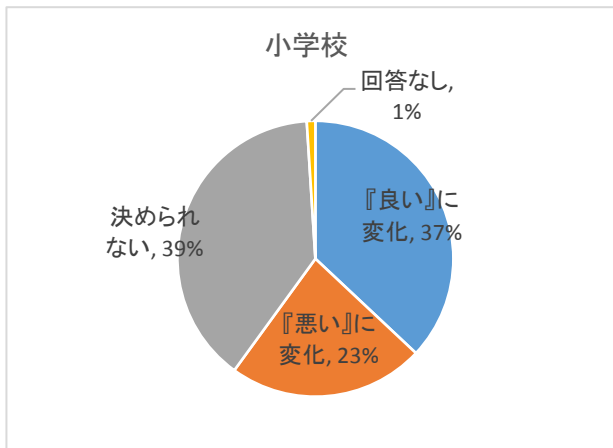


Q26、イメージの変化について

【小学校】

項目	事後	
	人数	%
『良い』に変化	497	37%
『悪い』に変化	304	23%
決められない	516	39%
回答なし	18	1%
	1335	100%

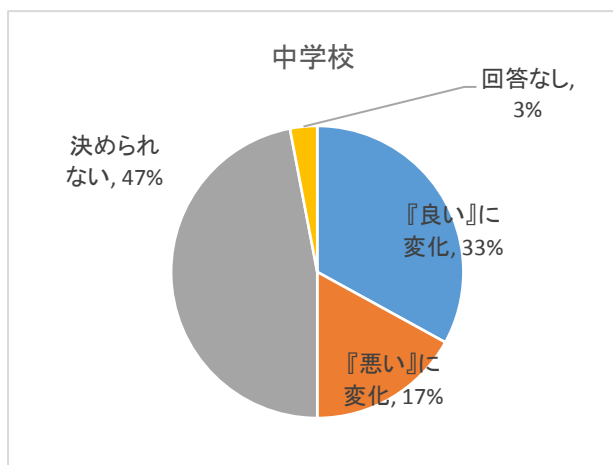
イメージの変化が「良い」になった子どもが37%、「悪い」が23%となった。どちらの変化もあった子どもが39%いることを見ると、感情が混在していることがわかる。



【中学校】

項目	事後	
	人数	%
『良い』に変化	208	33%
『悪い』に変化	108	17%
決められない	304	47%
回答なし	22	3%
	642	100%

イメージの変化が「良い」になった子どもが3割、「悪い」が1割となった。どちらの変化もあった子どもが4割近くいることを見ると、感情が混在していることがわかる。



## いのちの授業 感想文抜粋

・いま、生きているだけで幸せだと思いたいです。そして、1日をもっと大事にして、その1日に悔いが残らないようにいきたいです。

・ぼくは冗談で「死ね」とか言っていたけど、この言葉に意味が込められているなんて初めて知り、後悔し、反省しました。

・世界にたくさん病気などに苦しめられ、一生懸命に生きている人がいると思うので、ぼくも命を大切に生きていきたいと思います。

・ぼくはふつうに生きていることが普通じゃなくて幸せということを感じて人生をしっかりと生きていきたいです。

・授業をやっているうちに、いのちの尊さやがんという病気の怖さをしり、最後らへんでは涙がでそうになりました。わたしはこれからの人生でとても大切なことを学んだんだなと思いました。人の人生は小さなことでも幸せに感じるができるもので、とても大切なものなんだということが本当に心に残りました。

・わたしはかみづるさんから命のバトンを受け取りました。普通に生活できていることが幸せなんだということを忘れずに今を精一杯生きていきたいです。

・今日の話聞いて、1番思ったことは、1日1日を大切に生きようということと、命をむだにしないということです。もし命をむだにしてしまいそうな人がいたら、今日話を教えてあげたいです。

・自分は「がん」という病気について知らないことがたくさんありました。自分の中では「とてもつらい」とか「苦しい」「痛い」などとてもつらいイメージがありました。確かにつらいことはありそうですが、家族や親しい人に支えられ、そのような苦しさを打ち消すことだってできるんだなと思いました。

・「私が毎日毎日何気なく当たり前のように過ごしている時間が大切なこと、すごいことなんだなあ」と深く考えられました。

・自分は1人じゃない、まわりにはたくさんの味方の人がいるということを改めて感じました。

・がんのことを怖いと思っていたけど、今日、がんになった人は笑顔で生きる時間を大切に



て生きているんだなあと思いました。生きるって素晴らしいことなんだなあと今日勉強させてもらいました。

・人間はいつか必ず死ぬから、それまで笑顔でいたいと思いました。がんになっても支えてくれる仲間があると笑顔でいられる。ぼくもそう思いました。これからどんなことがあっても笑顔で仲間と仲良くしていきたいと思います。

・命のバトンをおじいちゃんから受け継いだのだなと今日の授業で学ぶことができました。そして、がんという病気で苦しむ人たちがもっと少なくなるように社会にしていきたいと思いました。

・ぼくは、三好さんががんになってもとてももののびのびと生きていることがとてもすごいと思います。

・亡くなったかみづるさんの授業で涙が出ました。途中で「生きていることは素晴らしい」という言葉が出ました。その言葉がぼくの心の中にグッときました。いのちの授業は絶対に忘れません。つらいときに「死にたい」と思わず、いのちの授業を思い出して生きたいです。

・人はいつか死にます。でもその1つしかない命を無駄にはせず、悔いの残らないように1日1日を大切にしたいです。

・私は三好さんのお話を聴いて、「命」はとても大切だなと思いました。それから「友達」「家族」「人と人の関わり」についてたくさん学べました。とても感謝しています。1番「大事」だと思ったことは「友達」です。ニュースでたまに見るのが「いじめ」に関することです。「なぜあの子は死んでしまったのだろうか」と思ったりします。なので私はこれからもずっと「友達」を大事に大切にしていきたいとです。また「友達」から助けてもらったらしっかりと「ありがとう」と伝えたいです。

・がんはとても怖くて治らない病気かと思っていたけど手術、放射線、抗がん剤で良くなると聞いて安心しました。それから緩和ケアについて初めて聞きました。痛みや辛さを和らげる薬はとてもいいなと思いました。

・私が心に残っている言葉は「生きてるだけで、金メダル」という言葉です。この言葉は困ったひとが聞くととても助けになると思います。私も困ったときに、この言葉を思い出したいです。